

令和 5 年 5 月 28 日現在

機関番号：15501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19K00372

研究課題名(和文) 徳山毛利家棲息堂文庫所蔵和刻本漢籍の書誌学的研究と分類目録の作成

研究課題名(英文) A Bibliographic Study on the Wakokubon kanseki of the Tokuyama-Mori Clan in the Seisokudo Library and the Creation of a Classified Index.

研究代表者

根ヶ山 徹 (NEGAYAMA, Tohru)

山口大学・人文学部・教授

研究者番号：20218267

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：徳山毛利家棲息堂旧蔵和刻本漢籍の詳細な書誌調査をおこない、既に公刊されている宮内庁書陵部編『和漢図書分類目録』(1951)及び「書陵部所蔵資料目録・画像公開システム」に見られる疑問点を明らかにし、遺漏等を補うことができた。以上の調査については、本研究において定めた採録すべき書誌項目、すなわち四部分類・書名・巻数・撰者・鈔刻・分類番号・印記・備考に分ち、すべてをデータとして記録した。その結果、「宮内庁書陵部所蔵徳山毛利家旧蔵和刻本漢籍分類目録(稿)」を完成させることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、徳山毛利家における知の集積の全貌を明らかにし、その特性を把握しようとするものである。同家棲息堂旧蔵古典籍の全体像を明らかにすることにより、和漢書のデータ集積に寄与することができ、大きな学術的意義があると考えられる。また、構成されてきた蔵書群を総合的に把握することにより、同家の知の原点を探り、知的財産の水準を客観的・具体的に把握することが可能となるという波及効果も期待できる。

研究成果の概要(英文)：Through a detailed bibliography investigation on the Wakokubon kanseki in the Seisokudo Library of the Tokuyama-Mori Clan, this study clearly indicated the problems and supplemented the insufficient points on “Wakan Toshō Bunrui Mokuroku” (1951) published by the Imperial House Library and “Archives and Mausolea Department Catalog and Image Disclosure System”. The research method employed data collection on all the bibliographic categories, including traditional fourfold bibliographical classification, title of the book, volume number, author, facts of publication, classification number, seal imprint, note and etc. The results accomplished the basic analysis on “Classified Index of the Wakokubon kanseki Collection of the Tokuyama-Mori Clan Held by the Imperial House Library”.

研究分野：中国文学

キーワード：徳山毛利家 棲息堂文庫 毛利元次 和刻本漢籍

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

徳山藩第三代藩主毛利元次(1667-1719)は、『樽桑名賢詩集』、『熙朝詩薈』に名を連ねる出色の才人である。徳山藩は表高わずか四万石の小藩でありながら、元次は経史子集の典籍を博搜し、その書齋棲息堂に収蔵して、歴代藩侯も蒐書に尽瘁した。

明治29年(1896)、同家から宮内省図書寮(当時)に20,902冊が献上された。山田実成編『徳山毛利棲息堂蔵書目録』(1896)は書名と冊数を記録した献上図書目録である。後に宮内庁書陵部編『和漢図書分類目録』(1952-68)が編まれ、近年は「図書寮文庫所蔵資料目録・画像公開システム」(<https://shoryobu.kunaicho.go.jp/Toshoryo>)においても検索が可能である。『図書寮漢籍善本書目』(1930、宮内省図書寮)には稀覯書74点の解題がおこなわれている。昭和39・42の両年、山口大学文学部(当時)に8,208冊が捐贈された。山口大学附属図書館編『山口大学附属図書館所蔵棲息堂文庫目録』(1986)に全書目が一覧されている。周南市美術博物館に寄託されている残部については、山口県教育委員会編『毛利家歴史資料目録』(1989)に什器類とあわせて記録されている。

研究開始当初において、宮内庁書陵部、山口大学、周南市美術博物館所蔵の典籍は、それぞれ個別に目録が編まれ、しかも編纂の趣旨、データの採録基準が異なり、少なからぬ誤謬や脱漏が見うけられ、総合的特性を把握することが困難であった。

2. 研究の目的

山口大学所蔵の漢籍・和刻本漢籍については、平成20・21・22年度日本学術振興会科学研究費補助金「山口大学所蔵和漢古典籍の書誌学的研究と分類目録の作成」(基盤研究(C)、課題番号20520331、1,600千円)によって書誌調査をおこない、『山口大学所蔵和漢古典籍分類目録』(2011)、『同・続』(2015)に著録した。

また、宮内庁書陵部に献上された漢籍については、平成27・28・29・30年度日本学術振興会科学研究費補助金「徳山毛利家棲息堂所蔵漢籍の書誌学的研究と分類目録の作成」(基盤研究(C)、課題番号15K02439、3,300千円)によって悉皆調査をおこなった。ところが、十分な書誌情報の備わらない書籍が多く、データ採録に想定以上の時間を要し、和刻本漢籍の調査には着手することができなかった。

そこで、本研究課題においては、棲息堂旧蔵の和刻本漢籍について資料個々の精確な書誌情報を調査し、全貌を明らかにすることによって、本州西端に位置する小藩における知の集積の全貌を明らかにし、徳山毛利家棲息堂の総合的特性を把握しようとするものである。

3. 研究の方法

研究代表者が単独で調査にあたり、データの採録、入力をおこなった。採録した和刻本漢籍データは、京都大学人文科学研究所編『京都大学人文科学研究所漢籍目録』(1981 縮刷版、同朋舎)、東京大学東洋文化研究所著『東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録』(1981 縮印版、汲古書院)及び東京大学総合図書館編『東京大学総合図書館漢籍目録』(1995-98、東京堂出版)に準拠して分類した。

4. 研究成果

(1) コロナ禍の甚大な影響により、各機関ともに様々な制約があり、十分な調査が実施できたとは言いがたい。しかしながら、宮内庁書陵部所蔵の和刻本漢籍については可能な限り実地調査をおこない、「宮内庁書陵部蔵徳山藩毛利家旧蔵和刻本漢籍分類目録(稿)」(『山口大学文学会志』第73巻、pp.1-22、2023年3月20日)を公開できたことは大きな成果である。

(2) 「宮内庁書陵部蔵徳山藩毛利家旧蔵和刻本漢籍分類目録(稿)」の作成を通して、宮内庁書陵部に収蔵される徳山藩毛利家旧蔵和刻本漢籍の全容を見通すことができるようになった。今回、調査対象とした和刻本漢籍には以下の善本・稀覯書が含まれる。

宋・闕名撰、宋・毛晃増注、宋・毛居正校勘重増『増修互註礼部韻略』五巻 覆元五山版

宋・江少虞撰『新雕皇朝類苑』七十八巻目一巻 元和七年銅活字本

宋・李遵勗敕輯『天聖広灯録』三十巻 元禄活字本

宋・釈惟白輯『建中靖国続灯録』三十巻首三巻 元禄二年雒北大応禅寺祖泰木活字印本

魏・何晏集解、梁・皇侃義疏『論語義疏』十巻 室町中期鈔本

唐・魏徵等奉敕輯『群書治要』五十巻 天明七年尾張藩刊本

これらが含まれるのは、棲息堂が藩侯の私的な蔵書で構成されているからであり、教育機関としての藩校との決定的な差異である。

(3) 宮内庁書陵部に収蔵される徳山藩毛利家旧蔵和刻本漢籍 158部 2,711冊の全容は以下のとおりである。

経部 32部 587冊

第一経注疏合刻類 『五経』十一巻 寛文元年野田弥兵衛刊本 第二易類 『易経直解』四十巻 元禄十年武府書林千鍾堂須原茂兵衛蔵版、『易経蒙引』二十四巻 寛文九年野田庄右衛門

刊本、『御纂周易折中』二十二卷首一卷 加賀国学重刊、『周易本義通釈』十二卷 享和二年江戸昌平坂学問所刊 第三書類 『尚書註疏』二十卷 安永六年平安書林風月莊左衛門等重校刊、『書蔡氏伝旁通』十卷 寛文五年京都上村次郎右衛門重印、『尚書通考』十卷 寛文五年京都上村次郎右衛門重印、『書伝輯録纂註』六卷 文化十一年江戸昌平坂学問所刊、『新鍔書経講義会編』十二卷 延宝二年跋京都吉野屋権兵衛重刊、『欽定書経伝説彙纂』二十一卷首二卷書序一卷 日本加賀国学重刻 第四詩類 『詩』二十卷 嘉永三年江戸昌平坂学問所重刊、『欽定詩経伝説彙纂』二十一卷首二卷『詩序』二卷 加賀国学重刊 第五礼類 『儀礼経伝通解』三十七卷 寛文九年京都山本平左衛門刊本 第六春秋類 『春秋左伝』三十卷 天明七年再刻、『春秋左伝君大夫姓氏表』一卷『世次図』一卷 元文三年刊 浪速書林木村嘉助等印本、『春秋左伝註解弁誤』二卷 寛政六年大坂河内屋惣兵衛河内屋善兵衛同重印、『春秋左伝註疏』六十卷 江戸期重刊、『公羊伝』十二卷 寛文八年荒川宗長刊本、『穀梁伝』十二卷 寛文八年荒川宗長重刻、『春秋四伝』三十八卷首一卷 享保九年京都今村八兵衛刊本、『欽定春秋伝説彙纂』三十八卷首二卷 加賀国学重刊 第七四書類 『論語義疏』十卷 室町中期鈔本、『四書大全』三十八卷 江戸期刊本 第九諸経総義類 『白虎通徳論』四卷 寛文二年刊本、『五経大全』一百二十七卷 江戸期刊本 第十小書類 『爾雅註疏』十一卷 江戸期重刊、『重刊許氏説文解字五音韻譜』十二卷 寛文十三年京都福森平左衛門刊本、『字彙』十二卷首一卷末一卷 寛文十一年洛城忠興堂刊本、『篇海類編』二十卷附録一卷総目二卷 寛文九年刊本、『康熙字典』十二集 安永九年浪速浅野弥兵衛等刊本、『増修互註礼部韻略』五卷 覆元五山版

史部 24部 566冊

第一正史類 『三国志』六十五卷 寛文十年書肆村上勘兵衛秋田屋山本平左衛門同刊本、『廿二史劄記』三十六卷補遺一卷 文久元年謙謙舎重印 第二編年類 『資治通鑑綱目』五十九卷『前編』二十五卷『後編』二十七卷『五代拾遺』一卷『明紀綱目』二十卷 文化六年 徳島府学蔵版、『資治通鑑綱目』五十九卷首一卷『前編』二十五卷首一卷『続資治通鑑綱目』二十七卷首一卷 京都梅花堂刊本、『東萊先生音註唐鑑』二十四卷 寛文九年小松太郎兵衛唐本屋清兵衛重刻、『新鍔李卓吾先生増補批点皇明正統合併通紀統宗』十三卷首一卷 元禄九年京都林九兵衛刊本 第四古史類 『国語』二十一卷 江戸初期刊本、『戦国策譚概』三十三卷首一卷附録一卷 江戸初期刊本 第六雜史類 『三国史記』五十卷 江戸末期抄本、『夷匪犯境聞見録』不分卷 江戸期抄本 第九伝記類 『關里誌』十二卷 寛文十二年洛陽書林小松太郎兵衛刊本、『新刊聖蹟図』一卷 元禄四年刊本 深津又一蔵板(凹字版)、『聖賢像贊』四卷 寛永二十年京都小嶋弥左衛門刊本、『有象列仙全伝』九卷 慶安三年京都藤田莊右衛門重刊、『古今万姓統譜』一百四十卷『歴代帝王姓系統譜』六卷『氏族博攷』十四卷 延宝九年山本平左衛門常知刊本, 第十一地理類 『海東諸国記』不分卷 江戸初期抄本、『標題音註東国史略』十一卷 江戸中期抄本, 『東国通鑑』五十六卷首一卷 寛文七年京都松柏堂林和泉掾刊本, 『英国志』八卷 文久元年長門温知社刊 江戸和泉屋金右衛門後印本, 『大典統録』六卷 江戸中期抄本 第十二職官類 『大唐六典』三十卷 江戸末期抄本 第十三政書類 『独断』二卷 元禄五年京都羽太与兵衛刊本 第十四書目類 『国史経籍志』六卷 京都野田庄右衛門重刊 第十五金石類 『泉志』十五卷 元禄十年京都林九兵衛刊本

子部 52部 1,041冊

第一諸子合刻類 第二儒家類 『説苑』二十卷 江府須原屋茂兵衛刊本, 『孔叢子』三卷 京都児玉九郎右衛門刊本, 『塩鉄論』十二卷 宝永五年京林九兵衛刊本 徳山毛利氏蔵板, 『文中子中説』十卷『補伝』一卷 元禄八年修文堂石田鴻鈞重刊, 『伊洛淵源録新增』十四卷『続録』六卷 慶安二年 風月宗知刊本, 『周子全書』七卷 江戸期刊本, 『張子全書』十五卷 延宝三年書林武村新兵衛重刊, 『讀書録』十一卷『続録』十二卷『薛文清公策目』一卷 江戸期刊本, 『新編音点性理群書句解』二十三卷 寛文八年吉野屋惣兵衛刊本, 『新刻性理大全』七十卷首一卷 承応二年洛陽小嶋弥左衛門田中清左衛門刊, 『朱子語類大全』一百四十卷首一卷 山形屋重刊, 『困学紀聞』二十卷 江戸中期刊本, 『曹大家女誡』一卷 天明八年序刊本 第三兵書類 『施氏七書講義』四十二卷 寛永十一年豊雪斎道伴刊本, 『武備志』二百四十卷 寛文四年重刊, 『七書直解』十二卷 寛永二十年京都沢田庄左衛門刊本, 『刪定紀效新書』十四卷 弘化三年江戸和泉屋吉兵衛等刊本 第五農家類 『耕織図』二卷 延宝四年跋 刊本 第六医家類 『証治準繩六種』四十四卷 寛文十至十三年銅駝坊書肆村上平樂寺刊本, 『古今医統大全』一百卷 万治三年重刊, 『訂正東医宝鑑内景篇』四卷『外形篇四卷雜病篇』十一卷『湯液篇』三卷『鍼灸篇』一卷『目錄』二卷 享保九年刊 京都書林梅井藤兵衛刊本, 『赤水玄珠』三十六卷首一卷『赤水玄珠医案』十三卷首一卷 赤水玄珠万治三年京都田中清左衛門刊本 医案明暦三年京都田中清左衛門刊本, 『本草綱目』五十二卷『序目』一卷『図経』二卷『本草図翼』四卷『瀕湖脉学』一卷『脉学脉訣攷証』一卷『奇経八脉攷』一卷『結髦居別集』四卷 正徳四年江戸含英堂予章堂等刊本, 『食物本草』十卷 江戸期刊本, 『雲林医聖普渡慈航』八卷 元禄九年洛陽文台屋治兵衛 唐本屋宇兵衛刊本 第九芸術類 『図絵宝鑑』五卷 江戸初期刊本 第十雜家類 『淮南鴻烈解』二十一卷 寛文四年京都前川権兵衛刊本, 『風俗通義』十卷 万治三年刊本, 『寘退録』十卷 江戸期抄本, 『焦氏筆乘』六卷 慶安二年林甚右衛門刊本, 『新刊鶴林玉露』十八卷 寛文二年中野市右衛門刊本, 『陳眉公重訂野客叢書』十二卷 承応二年中野是誰重刊, 『群書治要』五十卷 原闕卷第四第十三 第二十 天明七年尾張藩刊本 第十一類書類 『新雕皇朝類苑』七十八卷目一卷 元和七年銅活字本, 『卓氏藻林』八卷 元禄九年京都銅駝坊村上平樂寺重印, 『新刊古今類書纂要』十二卷 寛文九年書肆山形屋刊本, 『典籍便覧』八卷 万曆三十一年序刊本, 『新編排韻

増広事類氏族大全』十卷『新編排韻増広事類氏族大全増補皇明人文』一卷 江戸初期重刊 第十二小説家類 『冷斎夜話』十卷 正保二年洛陽書舎林甚右衛門刊本、『搜神記』二十卷『搜神後記』十卷 元禄十二年書林井上忠兵衛林正五郎同刊本 第十三釈家類 『景德伝灯録』三十卷 江戸中期版本、『五灯会元統略』四卷 江戸期田中庄兵衛刊本、『祖庭事苑』八卷 正保四年京都田原仁左衛門刊本、『天聖広灯録』三十卷 元禄活字本、『聯灯会要』三十卷 元禄三年雒北大応禪寺沙門祖泰木活字印本、『建中靖国統灯録』三十卷首三卷 元禄二年雒北大応禪寺祖泰木活字印本、『嘉泰普灯録』三十卷 五山版、『義楚六帖』二十四卷 寛文九年飯田忠兵衛刊本、『法苑珠林』一百二十卷条目五卷 寛文九年京都平楽寺村上勘兵衛刊本 条目延宝二年刊、『翻譯名義集』七卷 寛永五年刊本、『高僧伝』十三卷『続高僧伝』四十卷『宋高僧伝』三十卷『大明高僧伝』八卷 慶安四年神雜書肆美濃屋彦兵衛重刊 第十四道家類 『新録抱朴子内篇』四卷『外篇』四卷 元禄十二年京都井上忠兵衛 林正五郎同刊

集部 50部 517冊

第二別集類 『陶靖節集』十卷『総論』一卷 寛文四年京都武村三郎兵衛印、『唐王右丞詩集』六卷 正徳三年唐本屋八良兵衛等刊本、『分類補注李太白詩』二十五卷年譜一卷 日本山脇重顕点延宝七年刊本、『杜律五言集解』四卷『七言集解』二卷 寛文十二年京都丸屋庄三郎重刊、『杜詩分類集註』二十三卷目録一卷 明暦二年刊本、『唐柳河東集』四十五卷『叙説』一卷『遺文』一卷『外集』二卷 寛文四年秋田屋平左衛門覆崇禎中刊本、『禅月集』二十六卷 江戸期覆汲古閣刊本、『純陽呂真人文集』八卷 抄本、『東坡先生詩集』三十二卷末一卷年譜一卷 江戸期刊本、『擊壤集』六卷附録一卷 寛文九年西京長尾平兵衛刊本、『后山詩註』十二卷 元禄三年雒陽書林茨木多左衛門刊本 柳枝軒蔵版、『宋大家曾文定公文抄』十卷 慶応元年江戸昌平覺刊本、『和靖先生詩集』二卷 貞享三年京都茨木多左衛門刊本、『石門文字禅』三十卷 寛文四年京都田原仁左衛門刊本、『予章羅先生文集』十七卷『年譜』一卷 江戸期抄本、『宛陵梅先生詩選』二卷 抄本、『名公妙陸放翁詩集前集』十卷『後集』八卷 承応二年洛陽書林田中庄兵衛刊本、『新刻瓊瑤白先生集』十四卷目録一卷 元禄十年京都柳田六左衛門梅村弥右衛門刊本、『晦庵先生朱文公文集』存卷一至六十四『目録』二卷 江戸期刊本、『南軒先生文集』四十四卷目録一卷 寛文九年芳野屋権兵衛刊本、『陸象山先生集要』八卷 京都田中清左衛門刊本、『類編秋崖先生小藁別集』十一卷『続集』十卷『類編秋崖先生詩藁後集』九卷 江戸期刊本、『須溪先生評点簡齋詩集』十五卷 江戸期刊本、『芳薩天錫雜詩妙選藁全集』一卷 元禄七年大阪油屋与兵衛刊本、『白雲集』四卷 貞享五年平楽寺重刊本、『新刊宋學士全集』三十四卷 元禄十年刊本、『虚齋蔡先生文集』九卷 寛文十一年京都中野太郎左衛門刊本、『梨雲館類定袁中郎全集』二十四卷首一卷 元禄九年洛陽書林小島市右衛門梅村弥右衛門茨木多左衛門覆明末刊本、『擬寒山詩』一卷 雒陽書肆中野伯元刊本 第三總集類 『中州集』十卷目録一卷 延宝八年野田庄右衛門刊本、『唐詩鼓吹』十卷 元禄二年京都玉樹堂唐本屋吉左衛門重刊、『皇元風雅前集』六卷後集六卷 元禄六年京都兎玉九郎右衛門刊本、『金玉編』三卷 京都長尾平兵衛刊本、『新鐫註釈出像皇明千家詩』四卷 貞享二年洛陽淺野久兵衛刊本、『新刻陳眉公攷正国朝七子詩集註解』七卷 元禄二年刊本、『新刻李袁二先生精選唐詩訓解』七卷首一卷 京都田原仁左衛門重刊、『元詩正体』四卷 抄本、『古今詩刪』三十四卷 寛保三年京都田原勘兵衛刊本、『唐宋八大家文読本』三十卷 文化十一年官版、『三韓詩龜鑑』三卷 元禄十一年皇城書肆桐華堂中村五兵衛刊本、『瀛奎律髓』四十九卷 寛文十一年京都村上平楽寺重刊、『正文章軌範百家評林註釈』七卷『続文章軌範百家批評註釈』七卷 万治二年重刊、『文体明弁』六十一卷首一卷目録六卷附録十四卷目録二卷 寛文十三年京都野田庄右衛門重刊 附録寛文六年洛陽伊東氏刊本、『西崑酬唱集』二卷 抄本 第四詩文評類 『東人詩話』二卷 貞享四年江戸日野屋書助刊本、『精選古今名賢叢話詩林広記前集』十卷『後集』十卷 寛文八年中野吉右衛門刊本、『漁隱叢話前集』六十卷『後集』四十卷 抄本、『氷川詩式』十卷 万治三年京都玉村次左衛門、『詩藪内篇』六卷『外篇』六卷『雜篇』六卷『続篇』二卷 貞享三年京都武村新兵衛刊本、『杜律詩話』二卷 正徳三年皇都書舖白松堂唐本屋佐兵衛刊本

(4)周南市美術博物館に収蔵される徳山藩毛利家旧蔵和刻本漢籍 8部 34冊の全容は以下のとおりである。

史部 2部 5冊

第五別史類 『立斎先生標題解註音釈十八史略』七卷 元治元年京京都松柏堂五車樓刊本
第十三政書類 『攷事撮要』二卷 抄本

子部 6部 29冊

第二儒家類 『慵齋叢話』十卷 抄本 第五農家類『天工開物』三卷 抄本 第十雜家類 『舊記』一卷 抄本、『續記』一卷 抄本、『重訂弁惑編』十卷『続編』六卷 抄本 第十二小説家類 『開卷一笑上集』七卷『下集』七卷 抄本

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 根ヶ山徹	4. 巻 73
2. 論文標題 宮内庁書陵部所蔵徳山毛利家旧蔵和刻本漢籍分類目録（稿）	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 山口大学文学會志	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------